

## 令和2年度業務実績報告書

提出日 2021年1月20日

1. 職名・氏名 教授・吉村臨兵

2. 学位 修士(経済学)、専門分野 経済政策学、授与機関 大阪市立大学、授与年月 1993年3月

## 3. 教育活動

|                                                                                                                                            |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| (1)講義・演習・実験・実習                                                                                                                             |  |
| ① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>卒業研究（2単位 毎年開講） 4年生                                                                                                |  |
| ② 内容・ねらい<br>おもに労働、就労、または格差の問題に関心のある学生が相互に研究を深めて論文が仕上げられるよう、必要情報を提供する。                                                                      |  |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>学生自身による調査や情報収集にくわえ、有料のデータベースなどについては適宜こちらで情報を補いながら学生どうしの意見交換を促している。2020（令和2）年度は新型コロナウイルス感染症のため、例年のフィールドワークは実施しなかった。  |  |
| ① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>基礎演習（2単位 毎年開講） 2年生                                                                                                |  |
| ② 内容・ねらい<br>情報を集め、整理し、伝える立場と、それを受ける立場を経験する場を提供する。                                                                                          |  |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>学生自身によるレジュメの作成やメモの取り方、レポート構成方法について多くの時間を割いた。2年次の終盤に、学生生活の振り返り点として就職観について相互に意見交換した。                                  |  |
| ① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>低所得者支援（2単位 毎年開講 2012年度より開講） 4年生                                                                                   |  |
| ② 内容・ねらい<br>公的扶助につながるの深い所得保障や最低生活保障の施策がどのような働きをしているか学習する。                                                                                  |  |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>社会福祉分野への就職を考える学生にとって将来の利用者や従事者の雇用・生活環境への想像を促した。今年度は後期配当にしたこともあって履修者が1名だったので、国家試験問題などにも言及しながら質疑の時間を多く設けた。            |  |
| ① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>雇用政策（1単位 毎年開講） 3年生                                                                                                |  |
| ② 内容・ねらい<br>労働問題にかかわる実状と制度を雇用保険事業などに主眼をおきながら考察する。                                                                                          |  |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>社会福祉分野への就職を考える学生にとって、国家試験の準備に資し、将来の利用者や従事者の雇用・生活環境への想像を促す資料に重点をおいた。前年度は1時限ずつ隔週で実施したところ間延びしてしまったため、今年度は遠隔ながら毎週実施とした。 |  |
| ① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>外書講読（1単位 毎年開講） 4年生                                                                                                |  |

|                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ② 内容・ねらい                                                                                                                                                                   |
| 英語による解説文を読めるようになる。文章の解釈を通じて米、英における雇用環境や社会保障制度を知る。                                                                                                                          |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫                                                                                                                                                        |
| 大学院進学も念頭に置いている学生を含め、ある程度の長さのひとまとまりの文章の流れが把握できるような資料を準備した。Zoom の画面共有が文構造の説明に好適であることに気づき、学生の学習意欲に応じ、1 単位 8 回分が満了しても適宜補講を行った。                                                 |
| ① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等                                                                                                                                                     |
| 保健医療福祉行政論 (2 単位 毎年開講) 2 年生                                                                                                                                                 |
| ② 内容・ねらい                                                                                                                                                                   |
| 保健医療も含む福祉の行財政の実施体制を理解する。                                                                                                                                                   |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫                                                                                                                                                        |
| 看護学科との共通科目であるうえ、2 名のオムニバス講義なので平易で 1 回ごとに完結するような内容としている。                                                                                                                    |
| ① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等                                                                                                                                                     |
| 社会政策特論 (2 単位 毎年開講) 大学院修士課程 1 年生                                                                                                                                            |
| ② 内容・ねらい                                                                                                                                                                   |
| 社会政策、たとえば最低生活保障のしくみを概観する。                                                                                                                                                  |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫                                                                                                                                                        |
| 2020 年度は履修者がいなかった。                                                                                                                                                         |
| ① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等                                                                                                                                                     |
| 社会政策演習 (2 単位 毎年開講) 大学院修士課程 2 年生                                                                                                                                            |
| ② 内容・ねらい                                                                                                                                                                   |
| 修士論文の執筆につながるかたちで研究の深まるような題材を議論しつつ学習する。                                                                                                                                     |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫                                                                                                                                                        |
| 制度面での近年の変化をふまえた資料の提示に心がけている。履修者が社会人であることを踏まえ、修士論文作成に資するよう、本人の問題意識を文章化する機会を多く設けた。                                                                                           |
| ① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等                                                                                                                                                     |
| 修士論文指導 (2 単位 毎年開講) 大学院修士課程 2 年生                                                                                                                                            |
| ② 内容・ねらい                                                                                                                                                                   |
| 研究方法の妥当性をつねに検証しつつ論文を作成する。                                                                                                                                                  |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫                                                                                                                                                        |
| 履修者はいなかった。                                                                                                                                                                 |
| ① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等                                                                                                                                                     |
| 労働経済学 (2 単位 2013 年度から毎年担当) 2 年生<経済学部を兼担>                                                                                                                                   |
| ② 内容・ねらい                                                                                                                                                                   |
| 日本の労働市場と雇用環境をめぐる今日的問題についての基礎的理解を促す。                                                                                                                                        |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫                                                                                                                                                        |
| 3 回に 1 回程度は労働問題にかかわりのあるビデオや映画の冒頭部分をみせて講義の導入としていたが、遠隔のオンデマンド授業となったため、スライドに音声をつけたダイジェスト動画で理解を促した。他の経済問題と関係づけた理解の増進をはかっている。また、概ね 5 月末提出の中間レポートをふまえて、後半に基本的な情報の誤解の解消などを心がけている。 |

|                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等<br>導入ゼミ（1単位 2014年度から担当） 1年生＜学術教養センターを兼任＞                                                        |
| ② 内容・ねらい<br>どの学部の学生にも必要な学習上のリテラシーを形成する。                                                                               |
| ③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫<br>共通の書籍を輪読する方法で、傾聴やプレゼンテーションの動機づけをおこなった。また、学生の欠席傾向について所属学部の担当教員と連絡を取るなど、学生生活の始めの段階としての支援を意識している。 |
| (2)その他の教育活動                                                                                                           |
| ・非常勤講師：医療経済学入門（2単位 毎年開講）福井大学医学部医学科 1年生および看護学科 2年生、ならびに、医療概論Ⅱ（2単位 毎年開講）福井大学国際地域学部 3年生。                                 |
| ・テーブルゲームサークル（永平寺キャンパス）顧問（2016年7月～）。                                                                                   |

#### 4. 研究業績

|                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)研究業績の公表                                                                                                                                                                                 |
| ① 著書：なし                                                                                                                                                                                    |
| ② 学術論文（査読あり）：なし                                                                                                                                                                            |
| ③ その他論文（査読なし）：なし                                                                                                                                                                           |
| ④ 学会発表等<br>・単独「賃金相場と政策入札：地方自治体による二様の取り組み」社会政策学会第141回大会（Zoom）テーマ別分科会③「公正な地域社会を実現する政策目的型入札改革～公契約条例を中心に～」（座長：上林陽治）、2020年10月25日。                                                               |
| ⑤ その他の公表実績<br>・単著（書評）「高野剛著（2018）『家内労働と在宅ワークの戦後日本経済－授産内職から在宅就業支援へー』『アジア・日本研究学術年報』第1号（立命館大学アジア・日本研究所）、2020年6月30日、110～113頁。<br>・単著『長時間労働』研究会報告を読んで、『自治研ふくい』（福井県地方自治研究センター）68号、2020年2月、12～13頁。 |
| (2)特許等取得                                                                                                                                                                                   |
| なし                                                                                                                                                                                         |
| (3)科研費等外部資金獲得実績                                                                                                                                                                            |
| 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)（一般）課題番号19K02045<br>「少人数で就業する職種の労働環境と職能団体の機能に関する研究」平成31年度～平成34年度（令和4年度）（直接経費合計310万円）研究代表者。                                                                        |
| (4)学会活動等                                                                                                                                                                                   |
| 学会でのコメンテーター、司会活動<br>・コーディネーター：協同集会 in 福井 2017「福井発・協同で進める、働くことと地域づくり」2017年9月17日、永平寺キャンパス講堂。                                                                                                 |
| 学会での役職など<br>・社会政策学会 秋季大会企画委員長 2020年5月まで。<br>・社会政策学会 秋季大会企画委員 2020年5月から。<br>・社会政策学会 幹事 2018年5月～現在。<br>・日本建築学会 建設技能者問題小委員会委員 2001年4月～現在。                                                     |
| 学会・分科会の開催運営<br>・社会政策学会 第141回大会（Zoom）書評分科会（労働）座長。（2020年10月25日）                                                                                                                              |

## 5. 地域・社会貢献活動

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)学外団体                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| ① 国・地方公共団体等の委員会・審議会<br>鯖江市介護保険利用者擁護委員会 委員長 2006年度～<br>鯖江市介護保険運営協議会 委員 2006年度～<br>福井県社会福祉協議会 第三者評価調査者 2007年度～<br>福井県介護人材確保対策協議会 委員 2007年度～<br>大阪府豊中市総合評価一般競争入札審査委員会 委員 2007年度～<br>大阪府枚方市総合評価一般競争入札評価委員会 委員長 2009年～<br>福井地方労働審議会 委員 2017年度～<br>福井地方労働審議会労働災害防止部会 委員 2017年度～<br>社会保険診療報酬支払基金福井支部 公益代表幹事 2020年度～<br>日本年金機構 福井県地域年金事業調整会議 委員 2020年度～ |
| ② 国・地方公共団体等の調査受託等：なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| ③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加<br>福井県地方自治研究センター理事 2007年度～<br>労働と人権サポートセンター・大阪 理事 2010年6月～<br>大阪地方自治研究センター運営委員長 2013年12月～                                                                                                                                                                                                                             |
| ④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動：なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| ⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等：なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ⑥その他：なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| (2)大学が主体となっている地域貢献活動等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

## 6. 大学運営への参画

|                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------|
| (1)補職                                                              |
| なし                                                                 |
| (2)委員会・チーム活動                                                       |
| 教育研究委員会委員、2019年4月～。<br>社会福祉学科カリキュラム検討ワーキンググループ、2017年4月～。           |
| (3)学内行事への参加                                                        |
| 入試説明会（福井県立丹生高等学校）（2020年7月14日）。<br>入試説明会（福井工業大学福井高等学校）（2020年8月28日）。 |
| (4)その他、自発的活動など                                                     |
| 福井地区事業場従業員過半数代表者（職場委員会代表）2007年4月～。                                 |